

## グループ発表の内容（第2回絆研修② 平成30年4月22日）

### ◇グループワーク①

- ・本人のやりたいこと、気持ち、思いの共有。
- ・考えられるリスクを家族に検討いただく。施設か自宅か、どこまで悪化すれば入院させるのか。栄養に関しては胃ろうが必要かどうかなのか。
- ・奥さんの介護力が下がっているので、負担になりすぎないように検討、何が問題なのか、この会議で話し合うことが必要。
- ・本人はやりたいことがあるとの事なので、看取りを想定し、動ける間にどんなことがしたいか希望を聞く。
- ・話し合いを行い、在宅、施設など今後のケアの在り方を考える。
- ・嚥下ケアを十分に行い、食事ケアを上げる。
- ・栄養士が自宅に入り療養管理指導を行う。
- ・訪問管理指導回数を増やす。
- ・在宅療養が続けられるかどうか医療面での評価が必要。
- ・どの介護量が増えているか、環境調整を行う。
- ・奥さんへ介護技術を指導する。
- ・薬剤師と相談し、経口栄養食の導入検討。
- ・今後予想される状態を家族に知っていただき、どう対応していくのか話し合う。
- ・肺炎、褥瘡予防。
- ・どんなことができ、どんなことが考えられるか、経済的なことも含め情報提供を行う。
- ・家族、専門職の意見を聞き、納得していただけるようケアマネが交通整理していく。
- ・急変時どうするか、意思の決定。家族間で思いのすり合わせ。専門職同士、どのようなケアを行うか、奥さんへの支援も含め話し合い。

## ◇グループワーク②

### \*本人、妻

- ・ケアマネ役の上手な誘導で思いを伝えることができた。
- ・緊張して話しにくかった。
- ・専門用語がわからない。
- ・(妻) 本人を前にして緊急時の話はなかなかできない。
- ・(妻) 関わりのある方へは夫をみてくれてありがとうとしか言えないが、本音が言える状況も作って欲しい。

### \*訪問薬剤師

- ・普段あまり接することがないが、重要な情報を持っているので、今後の会議でも参加いただきたい。

### \*歯科衛生士、療法士

- ・まわりに何を伝えればよいかわからなかった。事前に情報を整理し何を話すのかまとめておかなければいけない。
- ・分かり易い言葉でどう伝えるか。客観的に伝える事の難しさ。

### \*医師

- ・すべてを網羅しておかなければいけないと思った。
- ・本人や家族を前に、病状説明が難しかった。
- ・回復を望む本人家族を前に、病状が進行している事をどのように説明すればよいか難しい。

### \*ケアマネ

- ・いつもケアマネに丸投げしていたが、どこに行きつけばよいか予測して話を進めないといけないと感じた。
- ・会議の進行役で大変さを感じた。
- ・司会はケアマネがすることを知った。ケアマネの重要性を感じた。
- ・本人の気持ちが置いてけぼりになっていないか気になった。

\*その他感想

- ・知ったような顔をして知らないことを話す大変さ。多職種のことをいかに知らないか、多職種それぞれの役割を知らないといけない。
- ・参加者の選定は、本人奥さんだけでなく、子供さんも参加した方がよい。
- ・ドクターがサービス担当者会議に参加されることは少ないが、今回の模擬のような優しく聞きやすいドクターがいれば理想。
- ・会議を開く前の下準備が必要。目的をはっきりさせなければ情報がバラバラになり、まとまらない。
- ・自分の専門職ではないので何を話せば良いか分からなかった。
- ・本人や奥さんへ、何について話し合いをするのか、事前説明が必要。
- ・会議の場で、自分の職種と関係のない事を多職種の方へ質問してよいのかどうか。口出しにならないだろうか。
- ・限られた時間なので、共通認識を持つなど事前準備が必要。ケアマネが本人や妻の意向、各事業所との関わりを調べて調整しておくことが必要だと感じた。
- ・ふだんから状態を良く知っている訪問看護師の重要性。